

読み切り小説 まだまだ続くの第15回!!

『今、必要とされていること!!』

俺は今、人生最大の難問に直面している。  
「ソウシ。問題番号11の答えは2番だよな？」  
「残念ながら4番だ。この分だと明後日の試験は悲惨だな。」 2日後に迫る期末試験を前に、親友のソウシを招いて猛勉強をしているのだ。何としても赤点だけは避けなければならない。

「そうならない為の勉強会だろ！頼む！頑張ってくれ！」

「頑張るのはお前だよ！」

そんなやりとりに興じていると、遠くの方から母さんの大きな声が聞こえてくる。

「カズキ。お母さん買い物に行ってくるから、お爺ちゃんが出歩かないように気をつけてね。冷蔵庫のケーキはソウシ君と食べていいから。」

こちらからの返答を確認する間もなく、玄関の戸を大きく閉じる音がした。なんとも忙しいことである。

「そういうことだから、居間でおやつにしようぜ。この部屋からじゃ、じいちゃんの様子わからないし。」

「お前も色々大変なんだな。」

「ソウシのお爺ちゃんはニューライフだったけ？今は施設で暮らしてるもん。うちのじいちゃんも、そのうちお世話になるのかな？」

「カズキのお爺さんはお元気だから、まだ大丈夫だろう。」

「そうなんだよ。本当は散歩出来るくらいには元気なんだぜ？だけど、外だと車も走ってるし、道路の段差も多いから、もしもの事を考えちゃうんだよ。それに最近のもの忘れもあって帰り道がわからなくなるんじゃないかって心配なんだ。これが、遊園地の中みたいに安全が確保されてて、沢山のスタッフが見回ってくれているような場所なら、じいちゃんも好きなように暮らせると思うんだけどな。まあ、夢みたいな話だけどさ。」

「そんなことはないさ。今、政府は地域包括ケアシステムという取り組みを進めている。これは、町などの地域を1つの集まりとして捉え、色々な施設やサービスが協力してサポートをしていくという考え方なんだ。実現すれば、お前が考えていることは決して夢物語じゃなくなるんだ。」

「すげー！国って俺が思っていたよりもずっとよく考えてくれてるんだな。」

「だが、あくまでまだ構想の段階だ。実現する為には様々な施設やサービスの連携、近隣住民の協力など沢山のことが必要になっていくことだろう。市町村によって取り組みに違いもあるだろうからな。」

「なるほど！俺たちの町独自の取り組みもあるってことか。ちょっと調べてみるか。厚生労働省のホームページだよな？」

「おい！カズキ！！」

「見るよ！ソウシ！世田谷区の取り組み事例が載ってるぜ！他にも色々な県で取り組まれているみたいだな。」

「おい！カズキ！！」

「どうした？俺たちも地域のために頑張らなきゃな！」  
「お前が今一番頑張らなきゃいけないのは、明後日の期末試験だ！！」

「そ、そうだよな(-\_-;)」

Yugawara Walker おがわりっ!!

湯河原ってこんなところ

“CHINESE NOODLE きっせい” 編

今回は「CHINESE NOODLE きっせい」さんをご紹介します。お店に入るとまず明るく清掃が行き届いた店内と厨房が目に入ります。とても気持ちが良くなります。席はテーブル席とカウンターで構成されています。おっと、きっせいさんは自家製麺です。入口の手前に麺うち場を見ることができます。さてさてメニューですが種類豊富で老若男女子供から大人まできっと食べたいものが見つかります。まずはお勧めのあごラーメンです。あごの出汁のいい香りがします。スープを一口。はい、美味しいです！出汁をしっかり味わうことができるとも優しい味です。麺は細麺ですが自家製麺！スープと良く合います。具のチャーシューもしっかりと味付けがされており、煮卵もgoodです！



次は湯河原B級グルメ担々やきそばです。きっせいさんの担々やきそばは細麺の揚げ麺で魚介と野菜の餡かけです。まず、パリパリの面が美味しい、餡の具も帆立や海老などの魚介類と野菜がたっぷりでピリ辛の中に優しさがあります。辛さ調節の豆板醤が付いてきます。そしてチャーハンこちらも優しさが全面に出ている感じがして美味しい気持ちとホッとする気持ちになれます。飲み物の種類も豊富ですし、セットメニューやおつまみ系など、まだまだたくさん美味しい料理があるので！



紙面の都合上ここまでですが皆様ぜひ足を運んでください！  
そうそう、なんとご飯の大盛り、麺の大盛り(1.5玉)、特盛(2玉)無料です!!  
!(^^)!驚きっ!

“ きっせい ”

Phone⇒0465-63-1928  
住所⇒湯河原町中央1丁目10-18  
営業時間⇒11:00～14:00 / 17:00～20:00  
定休日⇒金曜日

次号の予告

- ・お約束の新年企画や
  - ・定番のコーナー新年バージョンetc.
- で2017年1月にお届けっ!!

ホップのように(編集後記): 第46回!!

真夏の暑さもどこへやら、とても過ごしやすい気候になりました。施設としては1大イベント敬老会も終わり、秋の深まりとともにホッとした雰囲気が出ています。この秋は皆様はどのように過ごされますか？  
食欲の秋！スポーツの秋！読書の秋！  
いつもと変わらない秋！



私は毎年恒例のダイエットの秋で過ごす予定です。  
さて今年の成果は？  
それでは次回は冬真只中の1月にお会いしましょう。

発行責任者：ニューライフ湯河原施設長・小田隆男  
編集責任者：三科敏隆 編集：ニューライフ湯河原広報委員会  
発行日：2016.10.06  
発行人：ニューライフ湯河原湯河原町吉浜1906 phone:0465-60-1555

介護老人保健施設ニューライフ湯河原 presents



2016.冬隣!!  
後の更衣!!号



めっきり涼しくなりましたね。虫の音も心地良い時期になってきました。でもでも、この時期恒例のこととは言え台風が続々と上陸をしています。台風の数も例年と変わらないものの、上陸数がやたらと多いみたいです。自然界がおかしくなれば、そこで生きる人間もちょっとおかしくなっちゃうのでしょうか?? 最近、テレビや新聞、ネットを賑わすのはハッピーにはほど遠いニュースばかり...  
せっかくリオオリンピックでもらった感動も過去最多のメダルも、施設や病院で起きる今までは考えられなかったようなサイコパス絡みの事件や、嘘つきや不正の嵐で台無しです  
とは言え今年もあと3ヶ月、ニューライフは平和に時を刻んで行きたいと思います(^o^)/

## 踊り続けて23年...今年もいざ!! “やっさ祭り!!”



8月1日には施設に花車と御神輿が来て下さり、ご利用者皆様のたくさんの笑顔が見られました。

翌日8月2日は総勢32名の職員によりパレードに参加しました。施設開設以来毎年参加しており、今年で23回目!! まずは各フロアを回り入所者の皆さんへ踊りを披露した後、湯河原小学校から桜木公園までのパレードに参加しました。

日曜ということもあって沿道には大勢のお客様がいらっしやうりたくさんの声援をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。8月3日には幕山公園通りにてパレード及び吉浜海岸にて海上花火大会が開催され、町全体がお祭り一色となった3日間でした。皆様も、是非一度足をお運びいただけたら幸いです。

文責：根本容



## 夏が来れば...今年も「夏のお楽しみ会」開催!!!

7月23日土曜日に夏のお楽しみに会が実施されました。

暑い中でしたが、入所者の方々はとても楽しまれていました。盆踊りの際には神輿が登場しお祭りの雰囲気を感じました。最後にはナイアガラと打ち上げの花火があり華やかに会を終えることができました。

ご協力いただいた皆様ありがとうございました

文責：夏のお楽しみ委員会委員長 山室匡崇



## 今年で24回目「敬老会2016」えっ初めての雨?!

9月18日(日)敬老会が開催されました。今年は外会場の暑さを凌ごうと予算を取り「暑さ対策の秘密兵器!？」を設置し快適に過ごして頂くよう準備万端で前日準備を終えました。そして当日なんと雨(-\_-;) 秘密兵器の効果は来年に持ち越しとなりました。それでもご利用者、ご家族の方々などに楽しんで頂くよう、職員は時計とにらめっこしながら急遽雨天バージョンを準備、開催の運びとなりました。

雨といえども敬老会は敬老会、式典やバラエティに富んだ模擬店や数々の出し物を提供させて頂きました。喜寿、米寿、100歳以上のご利用者の表彰や保育園児、真鶴オカリナサークル「カモメ」様、吉浜区太鼓保存会様、真鶴中学吹奏楽部様のアトラクションや新人職員の紹介、屋内ゲーム大会など充実した内容でお送りしました。



ご利用者からは「普段と違う1日が楽しかった」、「模擬店が美味しかった」、「出し物が良かった」等々の言葉が聞かれ職員もホッとしました。ご来所頂いたご家族の皆様、近隣の皆様には雨天開催という事もありご迷惑をお掛けした点もあったかと思いますが、ご理解とご協力を賜り感謝いたします。また、今年も30名を超えるボランティアの方々にご協力を頂きました。あわせてお礼申し上げます。

来年は25周年敬老会となる予定です。職員一丸となって素敵な敬老会をお届けします。

### 謝辞とお詫び

- ・青木精肉店様、相模バンディング株式会社様より今年も多大な協賛を頂きました事をこの場を借りてお礼申し上げます。
- ・敬老会の相豆新聞・湯河原新聞での事前案内において真鶴中学校吹奏楽部が演奏のところ湯河原中学校と掲載されてしまいました。真鶴中学校、ご父兄および関係各機関にご迷惑と混乱を招いたことをこの場を借りてお詫びいたします。

今後、このような事が起きないように施設全体で取り組んでいきます。 文責：敬老会2016実行委員長 三科敏隆

## 第32回... “時事(じいじ?)コラム” ~新聞報道から読む福祉環境~

日本経済新聞で、次のような記事が出ていたので引用します。

“厚生労働省は症状が軽い人向けの介護予防サービスのすべてを市町村の事業に移すのを見送る。介護予防費の計6割を占めるホームヘルパーとデイサービスに絞って市町村に移し、訪問看護などは現行のままとする。厚労省は2015年度からの市町村への移管で介護予防費の伸びを75歳以上の人口の増加率並みに抑える方針だったが、修正を迫られそうだ。”

市町村から移管に伴う負担が重いとの不満が上がったことに配慮したと書かれている。

「予防給付」サービスのうち、ホームヘルパーやデイサービスを15年度から3年かけて市町村に移して、社会保障費の削減を目指すものであったわけだが、その抑制策は、なかなかかなえられそうもないというもの。体力があり、やる気のある市町村では、独自の裁量で介護予防に取り組んでいる記事が紹介されています。みなさんの市町村では、どのような施策がなされていますか?

この周辺での特徴的な取り組みをご紹介した記事は、南足柄市さんの記事くらいでしょうか。地域包括ケアシステム構築に向けて...など。

それでも、従来からそれぞれの市町村で介護予防の取り組みは実施されているのです。リハビリ体操教室とか、口腔ケア教室とか。あまり知られていないのではありませんか? 「財源の差があるので。」っていうのは、どうなのかな? もっともっと認知度を上げていけば、自然に広がっていきそうですが...介護予防サービスの利用者負担金を無料にしている町もあるのですから、わが町では、どんなことをやりたいのか、何ができるのか、誰がやるのか、もっともっと知りたいですね。

また気になるのが、老人福祉・介護事業の倒産のニュース。介護保険法が施行されて以降、過去最多のペースで推移しているらしい。特に小規模事業所の倒産が際立ち、訪問介護事業所の倒産が最も多いと報じていた。今後、さらに倒産が増加する可能性も小規模事業所を中心に推移しそうだとか。また、その背景について、12年度の介護報酬改定が影響したと分析。「景気が好転すれば、介護事業での人材確保はさらに難しくなる。今後も、小規模事業所を中心に、さらに倒産が増加する可能性もある」と指摘していた。

といっても、先の見えない、暗い気分になってはいられません。私たちを必要としている人がいる限り、企業努力を重ねていかなければならないと考えます。

今般の老人福祉・介護事業を取り巻く環境が今後の運営に悪影響を及ぼさないように祈るばかりだ。

文責：松岡秀典

## 学ばって素晴らしい!! “待遇マナーとクレーム対応~クレームは向上のチャンス!!~”

9月27日 あいおいニッセイ同和損害保険会社 篠崎様・内木様を講師に迎えて『施設職員のための接客マナー&クレーム対応研修』を受講しました。講義は話し方・接客の訓練とクレーム対応の基礎知識の2部構成です。接客マナーについては当施設でも日ごろから取り組んでいましたが、今回改めて講義を受けることで新たな気づきの機会になりました。簡単ではありますが講義について書かせていただきます。

接客マナーについては、お客様から見えない所の評価は、見えるところの接客マナーをしっかりとやることで、お客様は見えない部分もしっかりやっていると感じます。職員1人の挨拶1つで施設全体の評価が良くなったり悪くなったりする。また、話しや文字を書く際、動作が早いと雑や粗略といった印象を与えてしまい、ゆっくりと行う事で丁寧な対応をしている印象を与えます。また丁寧語の筆記テストを受け、普段話している自分なりの丁寧語がいかに標準から外れているかを痛感しました。

クレーム対応の基礎知識では、同じような言葉のクレーム対応と苦情処理について学びました。

クレーム(苦情)対応はその事柄に積極的な対応をしようとする姿勢、苦情(クレーム)を何とか処理してしまおうとする消極的な姿勢。その姿勢が態度に出てしまいます。またクレームはマイナスの事とは捉えず、お客様からの申し出として向上のチャンスだと捉え職員間で共有し対応していくことが重要です。

クレーム対応のグループワークでは相手の期待以上の対応をする事、丁寧な言葉遣いより相手を思う気持ちとそれを伝える言葉が大変大事だと学びました。

最後に今回学んだ、挨拶、丁寧な対応や言葉遣い、クレーム対応は定期的に研修や訓練を受けることにより、とっさの時に出来るようになります。そこを目標に継続した勉強会を行っていきます。 文責：身体拘束廃止委員長 千葉博幸

